

(3)

昭和6年10月  
伊藤 氏

### 檄す

俺達は今迄程かにして来た。然し恠う干渉と壓迫と迫害を以て俺達の行先を塞がれては、もう俺達はじつとしては居れない。そこでどんな犠牲を拂つても戦わねばならんのだ。

同僚よ!!! もう躊躇するな。そうして一つ持った武器である正宗の寶刀を抜け。藤永田の同志を救ふ爲めに全市の労働者よ同情罷工をせよ!!!

大正十一年六月八日 芳表